

〈解答〉

- ① 1 ア
2 (5月) 28日午後2時
3 ①：北方領土 ②：ウ
4 対馬海流
5 フォッサマグナ (カタカナ)
6 記号：エ 4 図：d

配点 ① 2, 5 は各 2 点, 他各 1 点 10点満点

〈解説〉

- ① 1 日本の領土は、本州、北海道、九州、四国の4つの大きな島と、そのまわりのおよそ7,000の小さな島々からなっている。
- 2 日本の標準時子午線は東経135度で、兵庫県明石市を通っている。地球は反時計回りに24時間で1回転(360度)しているので、 $360(\text{度}) \div 24(\text{時間}) = 15(\text{度})$ より、1時間あたり15度回転している。そのため、経度15度につき1時間の時差が生まれる。東経30度との経度差は、 $135(\text{度}) - 30(\text{度}) = 105(\text{度})$ なので、 $105(\text{度}) \div 15(\text{度}) = 7(\text{時間})$ の時差が生じる。1日は、日付変更線の西側から始まるので、日本が5月28日午後9時のとき、東経30度を標準時子午線とする地点は、7時間遅い5月28日午後2時となる。
- 3 北海道の北東に連なる国後島、歯舞群島、色丹島、択捉島の島々を北方領土といい、日本固有の領土である。択捉島は日本最北端の島で、北端は北緯45度33分に位置する。第二次世界大戦後、日本はサンフランシスコ平和条約の締結によって、千島列島を放棄し、ソ連の領土となった。しかし、北方領土は日本が放棄した千島列島に含まれないとして、日本政府はソ連に返還を求めた。ソ連が解体してからも、引き続きロシア連邦と返還を求める交渉が続いている。
- 4 日本周辺には、千島列島、北海道、東北地方の太平洋岸を南下する寒流の親潮〔千島海流〕、日本の太平洋沿岸を北上する暖流の黒潮〔日本海流〕、黒潮から分かれて日本海側を本州に沿って北上する暖流の対馬海流、樺太の西から日本海の北部を大陸に沿って南下する寒流のリマン海流が流れている。

- 5 フォッサマグナは、糸魚川市と静岡市を結ぶ線（糸魚川—静岡構造線）を西端として、幅100km以上にわたって土地が大きく落ち込んでいるところである。昔は海が入りこんでいたが、その後、八ヶ岳や富士山などの火山が噴出し、土砂で埋まり、日本列島は再びつながった。
- 6 流域面積とは、河川に水が流れ込んでくる範囲の面積で、多くの支流をもつ河川は流域面積が広がる。ア北上川は、岩手県北部から流れ出し、仙台平野を通過して石巻湾にそそぐ川でb、イ信濃川は、飛騨山脈に源をもつ犀川と関東山地に発する千曲川が合流して新潟県を北東に流れ、新潟市で日本海にそそぐ、日本で最も長い川でc、ウ石狩川は、北海道中央部の石狩岳から上川盆地、石狩平野を流れ、日本海にそそぐ川でaである。